



南九条橋架替工事完成

永久橋に生まれ変わりました

喜びの渡橋式

昨年春から工事が進められてきた南九条橋（南町一丁目 国道二三二号線から留萌高校への橋りょう）が完成され、さる十一月二十二日、原田留萌市長らのテープカットで渡橋式が行なわれました。

この南九条橋は、架替前は木橋で老朽化されており、巾員が狭く通学生の間でも危険と、早くから改築が望まれていたものでした。新しく誕生したこの橋は、総工費一億七千四百六十三万円で、延長七十七・五メートル（うち車道七十七・五メートル、歩道）の大きな永久橋です。

この工事は、さる四十七年に留萌川が一級河川の指定を受けた時点から、留萌川の拡中、護岸工事とあわせて、橋りょうの永久橋化が進められてきたもので、開発建設部と合同で事業を進めてきました。

完成された南九条橋に、通学中の高校生たちは「冬になると風にあおられたりしてこわかったけどこれで安心です」と嬉びの声を聞かれましたが、これで近隣の人々も安心して渡れることでしょう。



（留萌市電源立地可能性調査協議会）

各委員の所属部会が決まりました

留萌市電源立地可能性調査協議会の第四回会議が、さる十一月二十一日総合福祉センターで開会されました。

今回は、気象、海象、地象の三部門の所属を決定し、同協議会の構成は次のようになりました。

会長 木村繁太郎 副会長 吉田敏夫 同平野由太郎

／気象専門部会（この部会では、主として上空気象、気温の鉛直分布、風向、風速、降水量などを調査します。）

部長 佐川藤一 副部長 前田武雄、委員 岩崎一郎、小林良造、中西大三郎、菊田富夫、村馬良行、戸田祐清、鈴木将一、池田喬川、原久子、八島和江、島谷幸次、木原武雄、石塚作蔵、山本義男

／海象専門部会（この部会では、波浪の連続観測、波向、海水温度潮位などの調査をします）

部長 長秋田一夫 副部長 池田鉄雄 委員 佐賀政二郎、三國二郎、能登泰輔、升谷孝雄、阿部吉石、石井秀弘、長田博、土井利幸、石塚俊彦、星武男、児玉信一、齊藤庄作、吉光春次郎、横浜 競

／地象専門部会（この部会では、植作物分布、活力、土壌などを調査します。）

／部会長 渡会 一 副部長 長尾田三郎 委員 加藤 実、西村婿己、山田宏男、大野市三郎、今島 浩、替地孝之、児玉 文、佐々木重男、道添 優、工藤官治、青山重信、白鳥 実、佐藤 衛

なお、工藤委員が一身上の都合で辞任され、変って土井利幸委員が委員に委嘱されました。

《1市2町衛生センター建設工事》

51年末完成めざし本格的にスタート



起工式でクワ入れ行なう鷹橋留萌市助役

留萌市と増毛、小平両町と共同で建設が計画されていた「留萌市外二町衛生センター」の建設工事が、いよいよ五十二年十月末完成をめざしてスタートしました。

さる十一月十三日、現地大和田町八線の沢で起工式が行なわれて本格的に工事が進められます。

建設される場所は八線の沢（潮静小学校前沢）で、国道二三三号線から一・一キロ入ったところですが、こことは周辺道路の整備拡中河川の整備が行なわれ、センター本体の工事は明春から始まります。このセンターは活性汚泥方式を採用、一日の処理能力四十キロリットル。

総面積約六千九百平方メートルに、管理棟、投入室、汚泥乾燥焼却炉室、第一、二消化槽などが配

置されています。

特に、この方式では、生し尿を投入後、約一カ月間滞留させ破砕脱水しますが、投入時BOD一三五〇PPMのものを、これらの施設を通すことによりBOD二五PPMまで低下させることができずからこれらの処理後の排水は、自然水と同じ状態で留萌川に放水されます。

BODⅡ川や海の水中の汚染物質（有機物）が微生物によって無機性酸化物とガス状とに分解し安定化されるとき必要とされる酸素量のことで単位はPPMで表わされます。この数値が大きくなればその河川などの水中には汚染物質（有機物）が多く水質が汚濁していることを意味します。



東光小学校が完成しました

三カ年にわたって建設工事が進められてきました、市立東光小学校が、屋内体育館などの一部を残し完成され、さる十一月三十日に引越しが行なわれました。

建設場所は住之江町高台に、鉄筋コンクリート造り三階建、建築面積三千二百六十四平方メートルに普通教室十九室の他、理科室、家庭科室、図書室、音楽室、言語治療室などが配置されています。

この他、視聴覚室、保健室、放送なども完成されました。

なお、内部などの詳しい紹介は広報るもい一月号でお知らせいたします。

